

議員と語る会

特集号



下工公民館



要害公民館



高嶋公民館



荒町南公民館

～開かれた議会・町民と共にある議会を目指して～

発刊にあたって

町民との交流を通して、議会の機能を高め、町政及び議会活動に対する理解を深めていただくことを目的に議員と語る会を開催しました。

今回は、10月22日と24日の2日間、自治公民館を中心に町内8か所で行い、多くの町民のご参加をいただき活発な意見交換ができました。心から感謝申し上げます。

懇談会では、平成29年度決算の概要、委員会活動等の内容を報告し、出席者から貴重なご意見・ご要望等を多数いただきました。

議会に対するご意見・ご要望等は、議会運営委員会へ対応を検討して参ります。

また、町政全般に対するご意見・ご要望については議会でご検討し、町に申し入れることとしました。

今後とも、町民の皆様の声を大切に、よりよい町づくりを目指して努力して参りますのでよろしくお願い申し上げます。

河北町議会

議会運営委員会

町に対する意見要望のまとめ

公有財産 (公共施設整備)

●今後の公共施設整備の在り方について、長期的展望で財政と行政サービス等の総合的な判断に立って計画すべきではないか。

企業誘致

●花ノ木工業団地への企業誘致を進めるため、町独自の支援策を充実するとともに企業内の人材育成に努め、若者への情報提供を積極的に進めるべきだ。

谷地高校の魅力化

●持続可能なまちづくりを進める上で、県立谷地高校の存在は重要な問題である。町全体で谷地高校の更なる魅力化の支援を図って欲しい。

紅花文化の発信

●紅花文化が日本遺産

として登録された。

河北町の魅力溢れる文化財を整備し、紅花修景地を拡充し戦略的に発信して欲しい。

また、紅花資料館の入場料に頼らない、内部でのイベントを工夫し誘客を図る必要があるのでは。

住居表示

●住居表示は第8次総合計画策定時に町民の声を聞くなど情報提供に努めるとしているが本気度を示して欲しい。

子育て支援の充実

●少子化対策は最も優先する政策であり、河北町の次代を担う子どもたちが健やかに育ち、子どもを持ちたいと思う人が安心して子どもを産み育てられる環境を整備して欲しい。

公民館の環境整備

●猛暑対策として、公

民館への冷房装置や町民の生命を守る自動体外式除細動器(AED)の導入に対する助成を検討して欲しい。

社会資本整備

●ひなの湯や産直施設のにぎわい創出のために、町道下野真木線道路改良工事の早期着工を進めて欲しい。

町の答 町では国の補助事業を活用し、本路線の事業推進を目指しているが、現状では新規路線への予算配分が難しい状況で事業に至っていない。

引き続き事業推進に努めていく。

福祉灯油

●福祉灯油の申請について、該当しないのに郵送で案内がきた。対象者だけに送れないのか。

町の答 河北町個人情報保護条例により、対象者と思われる方

全員に送付してきたが、今後、法令等を精査して検討したい。

消防団員の確保

●近年、消防団員の高齢化や消防団員の減少が大きな問題となっている。

生活の安全を守るうえで重要な防災の観点から団員確保に向けた具体的な取り組みを行うべきでないか。

町の答 河北町消防団条例における団員定数565人に対し、平成30年10月1日現在の団員数は486人となっており、定数に満たない状況が続いている。

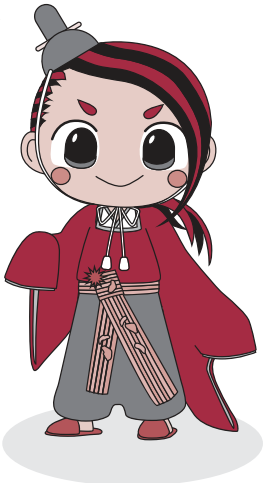
団員確保にあたっては、分団の地区内で団員が勧誘することを基本とし、町の広報やホームページに掲載し確保に努めている。

2018年12月14日

発行/河北町議会

編集/議会運営委員会

ご参加ありがとうございました



班編成	1班	2班	3班	4班
	木村 章一 榎 正義 細矢 誓子 石垣 光洋	岡田 桂司 丹野 貞子 吉田 芳美	漆山 光春 増川 修 東海信信弘	齋藤 隆 松田 收作 松田 賀好

開催日	会場	班	参加人数
10月22日(月)	荒南公民館	1班	15人
	高嶋公民館	2班	3人
	両所活性化センター	3班	7人
10月24日(水)	12区公民館	4班	2人
	吉田下公民館	1班	0人
	若葉町公民館	2班	12人
	下工公民館	3班	22人
	要害公民館	4班	14人

町民に開かれた議会 情報共有と政策提言で

河北町議会は、10月22日と24日の2日間、自治公民館を主会場に

町内8か所で、8回目となる議員と語る会を開催しました。

参加していただいた皆様から、議会と町に対するご意見・ご要望をいただき、それらをまとめましたのでご報告いたします。

議会に対する意見・要望

議員の活動

質 議員へのお願いが、町長の顔色を伺っているのではないかと。もっと町民の意見に耳をかたむける必要がある。議会も変わってほしい。

答 承る。

質 谷地高の学級数削減反対の意見書、谷地橋4車線化など実現不可能なことに議会は形式的な事だけを行っているのでは。

答 県教育委員会は将来の人口減を想定し、昨年度から一学級減を表明してきた。今までは反対の申し入れを行ってきたが、先日県の教育委員会から正式に一学級減が伝えられた。

議員と語る会

質 会場で出た意見や質問の回答はどうやって伝えているのか。

答 議員と語る会が終了したら、議会と語る

会特集号として全戸配布している。

質 議会報告会の案内は周辺地区にも配布しているのか。12区は離れているので他からは来ないし、他地区にも配布すべきだったのでないか。

答 今後の課題として承る。

質 出席者が2名では開催しても意味がないのではないかと。

答 少人数でもいろいろな話がでるのでこのまま続けたい。

議会だより

質 一般質問の記事を見ると追及が甘いのではないかと。

答 議会だよりは字数制限もあり内容が制限される面もある。なお、再質問などの内容が町民に理解できるように努力したい。

質 一般質問の記事は読まない。町民の声と

その他

質 町職員には優秀な職員が多い。能力を議会として引き出してほしい。

答 承る。

質 今日の参加でも分かるように、町政に関心だ。また、議員に若い人が出るような環境も整っていない。

答 選挙権が18歳に引き下げられたことで、若い人にも政治に関心を持ってもらいたいと考え、11月20日に高校生議会を開催する。

町に対する意見・要望

新庁舎建設

質 新庁舎は38億円で建てるようだが、資金繰りの見直しはどうか。

答 平成33年まで毎年1億円を建設基金として積み立て、期限付きの交付税措置もあり、議会も賛成した。

質 基本設計を見ると立派すぎる。身の丈に合ったものにすべきだ。

答 町は三役が地区ごとに説明し、町民説明会などで理解を得ていると言っている。

質 財政が厳しいと言っているが、庁舎を建設した時の財政状況は。長期の財政計画は未だに出てこない。議会は当初から求めている。

町民プール

質 町民プールの赤字は出ていないのか。運営をやめるべきではないか。

答 運営に毎年4,000

0万円かかっている。健康増進施設として、もっと利用すべきと思う。

質 町民プールの3cm沈下のその後は。

答 プールの補修案が示されたが、議会では原因説明が先と言っている。

農業振興

質 さくらんぼ山形C12号苗木の応募状況は。申請すれば誰でも苗木は購入できたのか。目玉にしていくのであれば、真剣にブランド化して欲しい。

答 約900本の応募と聞いている。苗木購入審査で認められた方だけが購入できる。ブランド化については、承る。

子育て支援

質 町の子育て支援は他市町に比べて遅れていると思う。実態はどうか。

答 宮城県七ヶ宿町は高校3年まで医療費が



12区公民館

無料だった。本町の子育て支援は他市町以上とはいえない。もっと支援策を充実すべきと思う。

質 認定こども園の募集が始まっているが、兄弟なのに同じ子ども園に入れないこともあるのか。

町の答 兄弟姉妹がいる場合は、入所調整指数により一定の加点があるが、保育の必要性の高

い方から案内するため、申込者が多い場合には、同じ施設に入園できない場合もある。

谷地橋4車線化

質 谷地橋4車線化はなかなか進まない。田井橋の構築を進めてはどうか。

答 谷地橋から国道13号まで4車線化しないと効果が少ないが、それは無理との意見もある。

質 谷地橋、河北橋を強靱にして交流を図って

いうよりも、自分の声しかないのでは。町に対する批判的な質問もやめた方がよいのではないかと。マイナスのイメージがある。

答 一般質問は町政全般の課題を町長に質問するもので、ご意見は承る。

議会だより101号の新シリーズは評価する。町民の意見をもっと掲載して欲しい。

答 承る。

ほしい。最上のほとりにもっと客を呼び込んではどうか。

答 谷地橋4車線化について、29年11月に谷地橋決起大会を行い東根市と勉強会も行っている。県は道路整備10年計画を作成中で、その計画に乗せるべく町と西村山全体で要望している。最上のほとりはもっとPRをすべきだ。

質 谷地橋4車線化は町民大会まで開いたが、本当に必要か。朝夕の一部時間帯だけなら、3車線化でも考えたかどうか。

答 3車線化を言う方もいる。仙台市の将監で実際行っている。

産直施設

質 産直の売り上げは2年後目標3億円で、1日100万円だが実績が出ていないのではないか。

答 農家の所得向上と町の賑わい創出として町から1億円補助したJAが運営主体であり努力している。

質 産直はなぜあの場所に建設したのか。庁舎にしてもそうだが、河北町全体で考えてもらいたい。

答 ひなの湯の利用者を誘客する考えもあり、現在の場所に決定された。

道の駅河北

質 道の駅をそのまま利用するのは無理ではないか。壊すべきと思うが。

答 町は6月議会に観光案内に特化して観光協会に業務委託しオープンしたいと提案してきた。

従前より経費がかかり増しすること、道の駅自体が観光施設として利用されているなどの理由から、今求められている道の駅として再オープンするよう求めた。

9月議会前にも同様の提案をしたので、総務産業常任委員会として町長に再考を求めた。

町民の声を町政に反映させる議会

谷地 高校

質 31年4月から谷地高の入学募集定員が3クラスから2クラスになることについて。

答 3クラス堅持をあらゆる機会を通じて県教育委員会に訴えてきたが、10月18日、31年度募集は2クラスとする連絡があった。

質 谷地高に通っている生徒は寒河江市からが多く河北中からの進学率が低いというのはいかがなものか。

答 進学は生徒の自由意志を尊重するものだ。谷地高は文武両道で非常に頑張っている。魅力ある学校づくりにより町全体で支援すべきだ。

質 谷地高を無くさない方法を考えるべきだ。例えば寒河江工業は建て替えの時期だが、谷地高の空き教室利用で総合学科を目指すとか。

答 県教育委員会との話し合いの中には谷地高に学科を新設という声もあったが、計画通

り決まった。非常に残念だ。

質 2年間募集定員に満たない場合、学級減らすとしてきた。今年度は1倍以上になったがその前は定員を下回っている。今回に至っているのでは。

答 以前、谷地高の存続を求める運動があり応援団体を作られた。その後の運動はほぼなく、団体も解散した。今回の学級減の対策につなげるべきだったかもしれない。



若葉町公民館

空き家

質 空き家が目につくが実態と対策はどうか。

答 現在の空き家は306戸で、毎年増加傾向にある。固定資産税納付書通知と一緒に空き家適正管理を家主にお願いしているが、解体し更地にするなど固定資産税が高くなる等、放置空き家に関する課題も多い。

質 町の空き家バンク登録は少ない。借りる側は賃貸で、貸す側は売却希望が多い傾向にある。

ふるさと納税

質 ふるさと納税について、監査委員の意見は分かりにくいとなっているが、どういふことか。

答 何回か議論して15億円の寄附で4億円の財源が残ったと分かった。今後わかりやすくなると思う。

ひなの湯

質 ひなの湯の脱衣場がむんむんしていて気分が悪くなる。喚気が機能していないのでは。

町の答 株べに花の里振興公社に確認をしたところ、脱衣場の換気扇は正常に機能しているが、利用客が増えるにつれて蒸気も増え、換気しきれないのではないかとのこと。利用客の皆様が快適に利用できるよう、更なる注意を払っていく。

紅花資料館

質 紅花資料館の案内人がいない。紅花おとめは何をしているのか。

答 紅花ガイドは予約が必要。紅花おとめは紅花の栽培や観光イベントに出ている。

工業団地・企業誘致

質 花ノ木工業団地に進出する「芝浦産業」とは。

答 鋼板加工メーカーで本社は東京、工場が山形の立谷川工業団地にある。平成32年度操

起業支援

業予定で現在の社員数は35人で10人程度の雇用増が見込まれる。

質 起業支援補助金500万円とあるが、雇用が生まれたのか。税金を使った補助なのか。町に対しての効果は。

答 29年度は個人の起業だったため、雇用には至らなかった。寄付金による補助で、先を見据えた支援だ。

道路除雪

質 除雪時間が遅く下手。もっときれいに除雪してほしい。雪捨て場にした所は、春先石やゴミだらけで後始末が大変だ。軒下の落雪が通学路を直撃する所もあり危険。役場に連絡したが、対策が講じられていない。

答 厚生文教常任委員会で視察調査し、町に除雪対策改善策提言の準備をしている。地区のみなさんの思いも伝える。

下水道

質 交差点の隅切り部など公共の場は役場ですっかり対応してほしい。

答 議会でも調査して町に提言する。

質 下水道工事が進むある地域は、空き家がどんどん増えることが分かっているのに工事が進められているのをおかしい。

答 下水道の整備は町内全域で必要なのか、という議論が始まったと思っている。

質 下水道料金は下水道に流入しない外水道の料金まで払っている。考慮すべきではないか。他市町で外水道の使用量を差し引いている例はないのか。

町の答 ほとんどの市町村で、使った水道水の水量を汚水排水量とみなして算定すると条例で定めている。自己負担で下水道に流さない外水道にメーターを設置すれば、その分を差

学区再編

質 学区再編と小学校統合の話は切り離して考えるべきもの。西部小が少ないから中部小へ、要害が南部小で、下楨が西里小とか色々問題はある。

答 承る。

質 要害地区でも子供の数が減っている。小学校の学区再編の時期は。

答 町の出生者数は約120名で将来を考えた場合、学区再編は必要と思われる。まずは保護者へのアンケートを行うべき。

まちづくり等

質 べに花マラソンのスタートの位置について、トイレから遠いなどの声がある。変更できないか。

町の答 完走タイムを把握したいとの選手要望

その他の課題・地域の課題

質 土地開発公社は解体して、膿を出すべき。公社を解体する自治体が増えている。

答 承る。

質 沢畑堰の水量増加について、町道沢畑根際線沿いの水量が少なく、夏は悪臭がする。常時水が動く程度の水量を確保して欲しい。

答 根際・沢畑地区からも要望が出ている。町に伝える。

質 ゲリラ豪雨に対して、若葉町内国道347号沿いの路肩の側溝のグレーチングが少ないのではないか。

町の答 当該地区の箇所については県が管理する国道なので、県の道路施設管理者へ話をしていく。

質 若葉町の公園に防火水槽があるが、除雪していないので緊急時に使えないのではないか。

町の答 冬期間、防火水槽、消火栓及び消防ポンプ庫など消防施設の除雪については、消防団員が行っているが、急な降雪などにより対応が困難な場合は、地区の方のご協力をお願いしたい。

質 町では豪雨による冠水は把握していたのか。防災無線を使用したの情報は提供はできないのか。区長が所持している携帯無線機はどのように活用しているのか。

町の答 道路パトロール

や通報などにより冠水状況を把握している。

防災無線は、災害など緊急を要する事態が発生したとき、発生が予想されるときに緊急放送を行う。危険地域への警報・注意報、避難情報、災害情報などの情報提供は、災害の規模を勘案して行う。

携帯無線機は、災害により公衆通信網が寸断した場合に連絡体制の強化を図るため自主防災会に貸与しており、災害等の情報収集などに活用している。

質 歩道にあるグレーチングで、目の大きいサイズがあり、ノルディックウオーキングや杖など、刺さって抜けなくなるとときがあり危険である。交換できないか。

町の答 グレーチングの目のサイズは、一般的な標準サイズを基本的に設置している。危険と判断される箇所は随時対策を講じていく。